

平成 21 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社フルキャストホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役社長 漆 崎 博 之  
(コード番号 4848 東証第一部)  
問 い 合 わ せ 先 エグゼクティブオフィサー 北 川 太  
電 話 番 号 03-4530-4830

子会社（株式会社フルキャストテクノロジー）の第2四半期累計期間および  
通期業績予想の修正ならびに特別利益および特別損失の発生に関するお知らせ

当社子会社である株式会社フルキャストテクノロジー（JASDAQ コード番号：2458）が、本日、平成  
21年9月期の第2四半期累計期間および通期業績予想の修正を行いましたのでお知らせいたします。  
当社の連結業績へ与える影響については確定次第お知らせいたします。

(添付)

株式会社フルキャストテクノロジーの開示資料

以 上

平成 21 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社フルキャストテクノロジー  
 代表者の役職・氏名 代表取締役社長 貝塚 志朗  
 (JASDAQ コード番号 2458)  
 問 い 合 わ せ 先 取締役財務経理本部長 塚原 進午  
 役 職 ・ 氏 名 社長室 経営管理部長 井上 剛  
 電 話 番 号 03 - 4577 - 0200

平成 21 年 9 月期 第 2 四半期累計期間および通期業績予想の修正ならびに  
 特別利益および特別損失の発生に関するお知らせ

平成 21 年 9 月期（平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）の第 2 四半期累計期間および通期の業績予想について平成 20 年 11 月 4 日「平成 20 年 9 月期 決算短信（非連結）」において公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせするとともに、特別利益および特別損失が発生いたしますので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 9 月期業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期累計期間（平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円・銭
前回予想 (A)	4,619	92	86	42	900.00
今回修正 (B)	3,981	359	356	150	2,648.87
増減額 (B-A)	△638	267	270	108	—
増減率 (%)	△13.8	290.2	314.0	257.1	—
(ご参考) 前期実績 平成 20 年 9 月期第 2 四半期	4,484	△36	△34	△41	△736.38

(2) 通期（平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円・銭
前回予想 (A)	9,500	150	141	65	1,147.84
今回修正 (B)	6,700	150	141	0	0.00
増減額 (B-A)	△2,800	0	0	△65	—
増減率 (%)	△29.5	0.0	0.0	△100.0	—
(ご参考) 前期実績 平成 20 年 9 月期	9,082	3	0	△95	△1688.57

### (3) 業績予想の修正理由

世界的な景気の後退に伴い、当社の主要顧客である製造業においては大幅な減産、設備投資の抑制、研究開発費の抑制、非正規社員を中心とする雇用調整が顕著にあらわれてきており、今後も景気の後退については先行きが不透明な状況が続くものと予測されます。

景気の後退に伴い顧客企業の契約更新の打ち切り、派遣料金の引下げ、稼働時間の短縮等が発生してきており、今後も早急な回復は困難であると予測されます。

上記の事由により、売上高につきましては、第2四半期累計期間、通期とも当初計画を下回り第2四半期累計期間では638百万円減少の3,981百万円の売上高、通期では2,800百万円減少の6,700百万円の売上高となる見込みであります。

営業利益につきましては、採用人数の抑制、待機技術社員の休業措置、賞与支給率の引下げ等による人件費の削減、採用費の削減、G.E.T.プログラム(※)の一時休止に伴う教育研修費の削減、寮の集約化等による家賃地代の削減、その他の諸経費についても大幅な削減の実施を行うことにより、第2四半期累計期間では267百万円増加の359百万円の営業利益、通期では当初計画と同額の150百万円の営業利益となる見込みであります。

当期純利益につきましては、以下に記載のとおり、特別利益325百万円、特別損失475百万円を計上する見込みであり、第2四半期累計期間では108百万円増加の150百万円の当期純利益、通期では65百万円減少の0百万円の当期純利益となる見込みであります。

### (4) 配当予想の修正について

平成21年9月期 期末配当金の修正については現在検討中であり、修正が生じた場合には速やかに公表いたします。

## 2. 特別利益および特別損失の発生について

### (1) 特別利益の発生について

雇用調整助成金、離職者住宅支援助成金、求職活動等支援給付金の支給申請の実施により、第2四半期累計期間で21百万円、通期で325百万円を特別利益に計上する見込みであります。

### (2) 特別損失の発生について

休業措置による人件費の計上を第2四半期累計期間で26百万円、通期で390百万円を特別損失に計上、および平成19年7月に事業を譲受けた韓国人技術者の派遣事業についてG.E.T.プログラムの一時休止等により、近い将来大きな事業改善が見込まれない為、当該事業の「のれん」の減損処理を実施し、第2四半期累計期間で85百万円特別損失に計上いたします。

上記の結果、第2四半期累計期間で111百万円、通期で475百万円の特別損失を計上する見込みであります。

※ G.E.T.プログラムとは Global Engineer Training program の略で、日本人留学生および外国籍の技術者を対象として、採用および独自のプログラムに基づく研修の実施を行い、付加価値の高いエンジニアの採用・育成を実施する制度であります。

以 上

本資料に記載しております業績予想につきましては、公表時におきまして入手可能な情報に基づき算出したものであり不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は今後様々な要因により本資料の予想数値と異なる可能性があります。